

1. 大分県地域環境保全基金の残高等

		金額 (単位:円)	備考
①	基金総額 (前年度末基金残高)	212,571,483	
	内訳	うち、国費相当額	106,285,742
		うち、地方負担相当額	106,285,741
		うち、負担附寄附金等	
②	基金運用益	634,370	
③	その他収入		
④	負担附寄附金等		
⑤	返納額	0	
⑥	基金執行額 (処分額)	14,140,321	内訳は下表のとおり
⑦	基金残高	199,065,532	(=①+②+③+④-⑤-⑥)
	内訳	うち、国費相当額	99,532,766
		うち、地方負担相当額	99,532,766
		うち、負担附寄附金等	

2. 保有割合

	次年度の基金類型	取崩型	金額 (単位:円)	備考
⑧	基金残高		199,065,532	
⑨	事業費 (次年度から終了年度までの見込額)		49,661,500	
⑩	保有割合		4.008	= (⑧/⑨)

保有割合の算定根拠
 運用型：運用益見込額÷事業費 (次年度見込額)
 取崩型：基金残高÷事業費 (次年度から終了年度までの見込額)

3. 事業一覧

番号	事業名	合計	事業費		備考	達成度	事業費 (次年度)	事業費 (終了まで)
			一般財源等	基金充当額				
1	気候変動対策推進事業	14,873,851	1,745,530	13,128,321		91%		
2	希少野生動物植物保護事業	0	0	0				
3	生物多様性保全推進事業	1,012,000	0	1,012,000		28%	1,462,500	10,237,500
4	大分県少年の船運航事業	0	0	0		50%	5,632,000	39,424,000
5		0						
6		0						
7		0						
8		0						
9		0						
10		0						
11		0						
12		0						
13		0						
14		0						
15		0						
合 計		15,885,851	1,745,530	14,140,321			7,094,500	49,661,500

4. 基金事業の目標に対する達成度

成果指標	大分県における温室効果ガス排出量について、2027年度までに36,560千t-CO ₂ (以下)を達成する。	
成果実績	40,054千t-CO ₂ (以下)	
目標値	36,560千t-CO ₂ (以下)	
達成度	91%	

令和2年度 事業報告書

事業名	気候変動対策推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	(1) 家庭向けCO2削減事業、(2) エコ&セーフティドライブ推進事業、 (3) 節電・省エネ対策推進事業	開始年度	令和元年度
担当部署	大分県生活環境部うつくし作戦推進課	終了年度	令和2年度

1. 目的及び目標（値）

【目的】
大分県地球温暖化対策実行計画に定める家庭・業務・運輸部門におけるCO2排出量の2020年度目標の達成に向けて、緩和策と適応策に取り組む。

また、各部門におけるCO2排出量削減のため、県民に対する節電・省エネの意識啓発や取組を推進する。

【令和2年度目標値】（※H30目標値）

県内の温室効果ガス排出量 42,372千t-CO₂以下

【令和2年度実績値】（※H30実績値）

県内の温室効果ガス排出量 40,054千t-CO₂

2. 概要

地球温暖化防止に関する県民の意識を高めるため、家庭部門対策として家庭向け省エネ診断、九州エコライフポイントを活用した家庭での省エネ行動の促進等、運輸部門としてノーマイカーウィークの実施や宅配1回受取りキャンペーン等の普及啓発活動を実施する。

併せて、夏場の電力抑制と県民への普及啓発を目的に、緑のカーテンの設置を行う。

3. 根拠法令等

地球温暖化対策の推進に関する法律、気候変動適応法、第4期大分県地球温暖化対策実行計画

4. 実施内容等

（1）家庭向けCO2削減事業【8,222千円（うち基金充当額：7,722千円）】

家庭のできる省エネ・節電セミナー等の開催（2回）、家庭でのエネルギーの見える化を促す大分版Web家庭のエコ診断（201件）、家庭向け省エネ診断（71件）等を実施し、家庭から排出されるCO2の抑制を促進した。また、九州の官民が一体となって、家庭や地域でのCO2削減を促進することを目的に、電気使用量の削減や植林等の環境保全活動への参加、省エネ製品の購入に経済的インセンティブを付与し、地域の商店等で商品と交換ができる仕組みを推進した。

（2）エコ&セーフティドライブ推進事業【3,854千円（うち基金充当額：2,608千円）】

エコ&セーフティドライブの推進を図るため、地域の研修会等でエコドライブの講習を行い、エコドライブの普及・啓発を図るためのチラシを配布した。自家用車等通勤者が週一回バスを利用する取組「エコ通勤割引制度」の普及啓発を行ったほか、事業所に対して年4回実施する「大分県ノーマイカーウィーク」の取り組みについて呼びかけを行った。

（3）節電・省エネ対策推進事業【2,798千円（うち基金充当額：2,798千円）】

夏の節電対策の一環として家庭での緑のカーテンの設置を促進するため、モデル的に県庁舎に緑のカーテンの設置を行い、家庭や事業所での設置を促進するとともに、緑のカーテンフォトコンテストを実施した。

令和2年度 事業報告書

事業名	希少野生動植物保護事業	新規・継続区分	継続
事項名	いきものウォッチングの実施	開始年度	平成27年度
担当部署	大分県生活環境部自然保護推進室	終了年度	令和2年度

1. 目的及び目標（値）

大分県の豊かな自然を支える生物多様性を保全するため、平成27年3月に改訂を行った「第2次生物多様性おおい県戦略」に基づき各種保全施策を実施する。

【目標値】

いきものウォッチング実施団体数 3団体/年

【実績値】

事業中止（H27～R2累計：13団体）

2. 概要

県内の希少な野生動植物の生息・生育環境の保全を図るため、条例に基づいた保護施策を実施する。また、身近な生き物を対象とした県民参加型の調査を実施することで、生物多様性の大切さについて考え、理解を促進する機会を設ける。

3. 根拠法令等

絶滅のおそれのある野生動植物の種の保存に関する法律
大分県希少野生動植物の保護に関する条例、第2次生物多様性おおい県戦略

4. 実施内容等

「いきものウォッチング」の実施に当たって担い手の募集、再募集をかけたが応募がなく、事業中止の判断となった。（新型コロナウイルス感染症の影響と考えられる。）

令和2年度 事業報告書

事業名	生物多様性保全推進事業	新規・継続区分	継続
事項名	積極的な保護施策の推進	開始年度	平成30年度
担当部署	大分県生活環境部自然保護推進室	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

<p>【目的】 豊かな自然の基盤である生物多様性を保全するため、「第2次生物多様性おおいた県戦略(2016-2020)」に基づき、各種保全施策を実施するとともに、豊かな生態系が残る地域の保全の推進や情報発信の強化等により、持続可能な自然保護の推進を図る。</p> <p>【目標（値）】 NPOとの協働による生物多様性保全活動の実施件数 92件</p> <p>【実績値】 令和2年度：92件</p>
--

2. 概要

<p>・地域の自然や生物多様性の重要性に関する地域住民の理解を促進するため、「おおいたの重要な自然共生地域」として選定された地域へのアドバイザー派遣や選定地域を周知する看板設置、また、特定外来生物防除対策用チラシの作成・配布による啓発を行う。</p>

3. 根拠法令等

<p>・生物多様性基本法、生物多様性地域連携促進法 ・特定外来生物による生態系等に係る被害の防止に関する法律（外来生物法） ・第2次生物多様性おおいた県戦略</p>
--

4. 実施内容等

<p>生物多様性保全推進事業 【1,012千円（うち基金充当額1,012千円）】 積極的な保護施策の推進 おおいたの重要な自然共生地域として公表した地域に、その地域に生息する動植物や保全活動等の情報を掲示説明した啓発案内板を設置（7か所）し、地域住民等の自然への関心・意識を高めた。</p> <p><市町村名 公表地域名> 別府市 ラクテンチの森 日田市 前津江町の権現岳林木遺産資源保存林 竹田市 神原溪谷 国東市 武蔵町小城山のスタジイ林 中津市 生物多様性にとむ中津干潟と塩性湿地 佐伯市 佐伯市城山の自然林 九重町 湯沢</p>

令和2年度 事業報告書

事業名	大分県少年の船運航事業	新規・継続区分	継続
事項名	大分県少年の船運航事業	開始年度	平成25年度
担当部署	大分県生活環境部私学振興・青少年課	終了年度	令和9年度

1. 目的及び目標（値）

大分県の明日を担う青少年の健全な育成を図るため少年の船を運航し、学校や家庭では体験できない船内外での研修及び集団生活を通じて、青少年の社会性を養いながら、生きる力を育む。

【目標値】

当該事業における環境教育受講者数 604名

【実績値】

事業実施なし（参考：陸上研修受講者数 322名）

2. 概要

大分や沖縄の自然・環境について学ぶことにより、環境保全について高い意識を持つ青少年の育成を図る。

3. 根拠法令等

4. 実施内容等

令和2年度は新型コロナウイルス感染症の拡大防止のため、少年の船の船舶による研修を中止し、陸上での代替研修を県内施設で実施した。基金の充当はなし。